

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
<b>I. 理念に基づく運営</b>	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4372400988
法人名	医療法人 安田会
事業所名	グループホーム るしだ
訪問調査日	平成 20年 4月 15日
評価確定日	平成 20年 5月 17日
評価機関名	特定非営利法人 NPOまい

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	4372400988		
法人名	医療法人 安田会		
事業所名	グループホーム るしだ		
所在地 (電話番号)	熊本県玉名市横島町横島3399番地1 (電 話) 0968-84-3541		
評価機関名	特定非営利法人NPOまい		
所在地	熊本県熊本市馬渡1丁目5番7号		
訪問調査日	平成20年4月15日	評価確定日	5月17日

## 【情報提供票より】(20年 3月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.1 人

### (2) 建物概要

建物形態	併設/単独	新築/改築
建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階 ~ 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	11,000 円
敷 金	有( 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

### (4) 利用者の概要( 3月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87.9 歳	最低	81 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族・職員での一泊旅行を通し、交流を深め信頼関係の構築に勤められています。また、利用者と職員は共に生活するなじみの関係が出来ており、行動を共にする努力がなされています。</li> <li>・地域に根ざしたかかりつけ医との連携が出来ており、緊急時や終末期の看取りの体制が確立されており、職員も意欲的な取り組みが出来ている。</li> </ul>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

3

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	1.ケアプランの個別計画の具体策が出来ていない部分については不十分であり継続の課題。 2.スタッフの育成と増員については対応出来ていない。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	勉強会を開催し自己評価の項目の意味付けが深まり評価の意義が理解できた。また、小規模多機能の役割が理解できたことで、地域密着型の事業所の今後の取り組みが期待できます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1回運営推進会議の予定が年間行事に組み入れられ、情報の伝達や意見交換が行われています。また、会議で検討された紙芝居が行事に活かされていた。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会時の説明や情報提供、また、電話連絡。年2回の家族会、年3回のアンケートがおこなわれていた。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目⑤	併設施設との連携や協力体制が強い。地域の資源を利用し、老人会との関係作りは出来ている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所基本理念を基に職員全員の意見を「7つの想い」にまとめ、理念をより具体的に取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所、台所、ロッカールームに提示し、職員の目に触れるようにし意識付けを行っている。また、ミーティングでケアの内容に照らし合わせ共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域への呼びかけには積極的な参加があるが、事業所から地域活動への参加が少ない。近所の美容室の利用や畑作りを教わるなどの交流はされている。	○	近所付き合いが出来る関係作りから取り組まれるとよいでしょう。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	勉強会を通し、評価項目の細部について深く考える機会になった。ケアの内容に対する意識が高まったととらえられている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で情報の伝達は行われている。推進会議の意見の中から紙芝居が取り入れられるが、新たな取り組みが出来ていない。	○	情報伝達に終わらない活気ある運営を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者の入院状況や事故報告等を行い、必要な連携が行われている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時その都度利用者の状況を報告がされている。面会が少ない家族に対しては電話で状態を連絡している。または、るしだ通信を郵送している。金銭管理はノートを利用し残高確認を随時行われている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の家族会で意見を聞いている。年3回アンケート調査を行っており意見を採り入れている。また、毎年、利用者、家族、職員の一泊旅行が行われており参加者も多く、職員家族間の会話の中で意見交流の場となっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	なじみの関係が出来るまでは日勤のみとしている。職員の移動については併設施設からの移動が主で併設施設との交流がありなじみの関係が出来ている。新人に対する入浴・排泄等ケアの拒否がある場合はなじみの関係が出来るまで、挨拶、声かけを繰り返し行い関係作りがなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外研修はパート職員も含め積極的に参加を勧めている。研修課題に対し、管理者が人選している。昨年は、職員全員が研修に参加されており、定例会で報告会がされている。個人の資格取得の希望に対しては可能な限り協力がなされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	玉名地区のグループホームの連絡会があり意見交換が行われている。隣接事業所との喉自慢大会やお花見が合同で行われたり、利用者同伴で見学交流や事業所の手作りのおはぎのお裾分け等、事業所間の近所付き合いが行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や宿泊体験や家族の希望に応じて対応がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意とする野菜作りや干し柿や梅干しの作り方等を、料理の下ごしらえを共に行い会話の中から学んでいる。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の行動や生活歴、家族の意見を聞き、意向の把握に勤められている。	○	より細かい意向の把握が職員全員で共有出来るような取り組みを期待します。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ワークシートを利用し情報の共有やケアの確認、変更に対し日々の業務がもれなく実践できるよう工夫されているが介護計画に反映されていない。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月6か月で見直しが行われている。その時々の変化はワークシートの実践により行われているが介護計画の見直しまでには至っていない。	○	ワークシートから介護計画・評価と一連の流れが見えるとより具体化された計画になるでしょう。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の地域へのボランティアとして横島マラソン時の送迎や応援等の協力がなされていた。	○	施設の機能を活かして、地域の社会資源になることを期待します。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は家族の希望に応じて対応がなされているが。専門医に関して状況に応じて受診介助が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の終末期を希望され、職員全員で話し合いをしながら看取りが行われた。併設の医院が敷地内にあり、いつでも往診できる体制にあり今後も希望により取り組む姿勢が見られる。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々のファイルは事務所で管理されている。個々に合わせた言葉掛かが行われている。異性を拒否する場合は必要に応じて同姓介護が行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	声かけ方法により本人のペースを大切に、会話の中から本人の希望を聞き取る努力が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を提供し、季節を感じられる工夫がなされている。また、誕生会には家族を呼び誕生者の好みの料理が提供されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個人浴槽と広い浴槽があり、庭の木々がみれるようになっている。また、個々の気分や状態に合わせて午後から希望の時間に入浴の支援がなされている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で洗濯たみや庭の散歩を楽しまれている。集団での活動から個々の活動への支援が必要。	○	一人一人を尊重した対応に努力されています。できる力を引き出すための工夫を検討されるとよいでしょう。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の畑の様子を見に行ったり、中庭の散歩や、併設事業所の自販機まで飲み物を買う等々の支援がなされている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間の戸締まりのみで、離設者に対し可能な限り付き添い行動を共にしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自主訓練を年に1回。併設事業所との訓練のが年2回行われている。地域との連携は行われていないが併設事業所との緊急連絡体制は確立されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調によりメニューの変更や水分補給のためにスポーツドリンクや手作りプリン、好みの飲み物が提供されている。また、血液検査による個々の栄養評価が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いゆったりした空間に静かな時間の経過が感じられる。日当たりのよい庭はいつでも散歩でき、ベンチも用意されている。また、屋外での食事を楽しまれる事がある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望により好みの家具の持ち込みは可能である。		